



熊本市 感染症発生動向調査 速報



「A群溶血性レンサ球菌咽頭炎」が増加傾向にあります。

◆A群溶血性レンサ球菌咽頭炎とは

A群レンサ球菌という細菌が、のど(上気道)に感染して発症する咽頭炎です。赤血球を壊す(溶血)毒素をもつ細菌による感染症のひとつで、主に学童期に多く、3歳以下の乳幼児や大人には比較的少ない病気です。

・**感染経路** ①飛沫感染…患者のくしゃみなどのしぶきを吸い込むことにより感染。

②接触感染…細菌が付着した手で口や鼻に触れることによる感染。

主にヒトとヒトとの接触で感染しやすく、家庭での兄弟間や学校、幼稚園、保育園などの小児の集団生活施設内での感染も多いです。

・**症状**…2~5日の潜伏期間の後に、突然の発熱とだるさ、

のどの痛み(咽頭発赤)で発症し、**イチゴのような舌**(写真参照)がみられたり、嘔吐を伴うことがあります。点状紅斑様、日焼け様の皮疹が全身に広がる猩紅熱や、リウマチ熱や糸球体腎炎などの合併症を起こすこともあります。

・**流行期**…冬季及び春~初夏に多くみられます。



国立感染症研究所 「A群溶血性レンサ球菌咽頭炎とは」より

◆かかったらどうすればいいの？

- ・抗菌剤による治療を行います。症状が改善しても、**お薬は決められた期間きちんと飲むことが大事です。**
- ・のどの痛みがひどい場合は、食事は柔らかく薄味にするなど工夫しましょう。水分補給を心がけましょう。

◆予防のポイント

- ・手洗い、咳エチケットを心掛ける
- ・患者との濃厚接触を避ける



手を洗おう

国立感染症研究所HP
「A群溶血性レンサ球菌咽頭炎とは」



定点 種別	期 間		2023年 43週		2023年 44週	
			10/23~10/29		10/30~11/5(最新)	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り	
C I O N F L U E N Z A - 1 9 ノ 小 児 科	インフルエンザ 注意報レベル!!	➡	353	14.12	339	13.56
	新型コロナウイルス感染症(COVID-19) 注意	➡	60	2.40	44	1.76
	RSウイルス感染症	➡	1	0.06	0	0.00
	咽頭結膜熱(プール熱)	➡	36	2.25	35	2.19
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 増加中	➡	63	3.94	75	4.69
	感染性胃腸炎	➡	45	2.81	45	2.81
	水痘(みずぼうそう)	➡	4	0.25	0	0.00
	手足口病 流行中	➡	40	2.50	24	1.50
	伝染性紅斑(りんご病)	➡	1	0.06	0	0.00
	突発性発しん	➡	9	0.56	5	0.31
	ヘルパンギーナ	➡	4	0.25	2	0.13
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	➡	0	0.00	0	0.00	
眼 科	急性出血性結膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
	流行性角結膜炎(はやり目)	➡	5	1.00	6	1.20
基 幹	細菌性髄膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
	無菌性髄膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
	マイコプラズマ肺炎	➡	0	0.00	0	0.00
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	➡	0	0.00	0	0.00
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	➡	0	0.00	0	0.00